

令和3年度

入学試験問題

帰国生

国語

- 1 問題用紙は監督者かんとくしゃの指示があるまでは開いてはいけません。
- 2 開始のチャイムが鳴ったら、最初に問題用紙と解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入して下さい。
- 4 記述で答える問題は、特に指定のない場合、句読点くとうてんや符号ふごうは一字として数えるものとします。
- 5 問題は1ページから12ページまであります。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

森村学園中等部

一、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「世間」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？

「社会」はありますか。

今から、「世間」と「社会」とは何かという説明をします。

「世間」と「社会」という二つの言葉を理解すると、あなたの生き苦しさのヒミツがよく分かるようになるのです。

「世間」というのは、あなたと、現在または将来、関係のある人達のことです。

具体的には、学校のクラスメイトや塾で出会う友達、地域のサークルの人や親しい近所の人達が、あなたにとって「世間」です。

「世間」の反対語は、「社会」です。

「社会」というのは、あなたと、現在または将来、なんの関係もない人達のことです。

例えば、

I

 なのです。

日本は「世間」と「社会」という、二つの世界によって成り立っているのです。

(中略)

日本人は、基本的に「世間」に生きています。

自分に関係のある人達をとでも大切にします。けれど、自分に関係のない「社会」に生きる人達は、無視して平気なのです。

それは、冷たいとかいじわるとかではなく、生きる世界が違うと思っっているからです。

あなたも、街で知り合いに会うと、気兼ねなく声をかけられるでしょう。

「世間」に生きている人とは、普通に話せます。

でも、知らない人にはなかなか声をかけられないはずですよ。それは、「社会」に生きる人だからです。

『cool japan』に出演しているブラジル人が、ある日、僕に言いました。

「日本人は本当に優しい人達だと思う。3・11の東日本大震災の時、みんなが助け合っていた。私の国だったら、コンビニが襲われたり、交通が乱れてパニックになっていただろう。でも、日本人は、そんなことはなかった。素晴らしい」

ところが、数日後、彼は戸惑った顔をして僕に言いました。

「今日、ベビーカーを抱えた女性が、駅の階段を上がろうとしていた。彼女は、ふうふう言いながら、ベビーカーを抱えていた。信じられない。私の国なら、すぐに彼女を助けて、ベビーカーを代わりに持ってあげるだろう。どうして日本人は彼女を助けないのか？ 日本人は優しい人達じゃなかったのか？」

① どうして助けないのか、日本人のあなたなら、その理由は分かるでしょう。

(中略)

驚くことに、ほとんどの外国には、A はありません。B は、とても日本的なのです。

欧米をはじめとしたほとんどの外国は、C しかありません。

エレベーターに乗ると、日本人は、全員が沈黙したまま、決して目を合わせず、じつとドアの上に表示された階数の数字を見つめています。欧米では、A エレベーターの中で、必ず、目礼か会釈か会話が始まります。

知らない者同士が会話することが当り前のD に生きているからです。エレベーターのような狭い空間で、とても近い所に人が立っているのに、黙っている方が不自然に感じるので。

(中略)

「世間」には、「みんなと同じことをしないといけない。みんなと同じ格好をしないといけない。みんなと同じことを言わないといけない」というプレッシャーというか圧力があります。

これを、少し難しい言葉で「同調圧力」と言います。

日本は、この同調圧力がとても強い国です。

もちろん、「世間」があるからです。みんな、「仲間外れ」にならないように、プレッシャーに従うのです。

友達とお昼を食べようと相談した時もそうです。

友達が、次々と「ラーメン」「ラーメンがいいね」「ラーメンが食べたい」「ラーメン屋さんに行こう」と言うと、自分の番になったときに、「ハンバーガーが食べたい」とはなかなか言えないのです。

欧米では、つまりアメリカ人やイギリス人はこういう時「じゃあ、私だけハンバーガーを食べてくるから、ここでまた会おう」なんて会話が普通に起きます。

仲間の希望に無理に従わなくてもいい、自分は自分の食べたいものにしようと思うのです。

周りもそれをまったく気にしません。一人一人、食べたいものが違うことは当り前で、それを無理に合わせる方がおかしいと思うのです。

もう理由は分かりますね。② 欧米の人は、「社会」に生きているからです。

(中略)

日本は世界の中で、とても同調圧力の強い国です。

そのことが、良い方向に働くことも、もちろんあります。

あ、東日本大震災の時、ズタズタになった道路は、たったの1週間で見事に修復されました。

震災直後と1週間後の道路の写真は並べられ、③「日本の奇跡」としてネットに広がりました。

働いていた人達には、それぞれ、事情があつたはずで、震災で家族や親戚が行方不明の人もいたかもしれません。でも、みんなが自分の事情を後回しにして、一致団結して、道路を直したのです。

そうすることが当然だとみんな思いました。これが、良い意味での「同調圧力」です。

い、これが悪い方向に行くと、クラスでただ一人ランドセルを使つてない生徒を攻撃したり、派手な洋服の生徒を全員で無視したりするのです。

「みんなひとつになろう」という「同調圧力」は、「みんな同じことを考えている」と「ひとつになることは良いこと」という前提があります。みんな同じ「世間」に住んでいる仲間という意識です。

海外にも同調圧力はあります。

ただ、「みんな同じことを考えていない」という前提があるのです。

(中略)

日本人は「社会」の人との会話が苦手だと書きました。

あなたも僕も、知らない人と長い間話すなんてことはなかなかできません。

まして、欧米の人のように駅や公園などの知らない人が集まっている所で、ボーイフレンドやガールフレンドを作るなんてことは、日本人にはなかなかできません。

でも、東日本大震災の後、日本の各地で「社会」の人達同士の会話が始まりました。

道を歩いていて、グラツと揺れると、思わず、知らない人同士が「揺れましたね」「ちよつと大きかったですね」と話しました。そして、また、別れて歩いて行きました。

う、近くに友達がいたら、「揺れたね。怖いね」と、たくさん話して気をまぎらわせたでしょう。

でも、近くに「世間」の人がいない時、私達は、「社会」の人と話すことで、気持ちを落ち着けたり、元気になったりするので、

山を歩いていて、たまに人とすれ違つと、みんな「こんにちは」と言います。ずっと一人で歩いていると、思わず声が出るのです。こういう、知らない「社会」の人との会話を、僕は「社会話」と呼んでいます。

(中略)

日本人は「世間話」は得意です。

④でも、これからは「社会話」もできるようになるといいなと僕は思っています。

(中略)

⑤ あなたがたったひとつの「世間」にしか所属していなければ、その「世間」から追い出されそうになったり、その「世間」とぶつかったりしたら、あなたの行く場所はなくなりませう。

あなたはとても落ち込み、苦しむでしょう。

「たったひとつの『世間』とぶつかったり、追い出されたりして、生き苦しくなることを避ける方法は二つあります。

ひとつは、同時に他の弱い「世間」に所属することです。

もうひとつは、「社会話」をできるようになることです。

(中略)

もし、あなたが、いつも同じグループでしか生活していないのなら、他にも「世間」を作ることをお勧めします。

なんでもいいのです。

いつも一緒にいるグループは強い「世間」です。その強い「世間」にいながら、同じぐらい強い「世間」に所属することは不可能でしょう。

強い「世間」に対抗して、同じぐらい強い「世間」を探すのではなく、弱い「世間」に所属するのです。それも、ひとつではなく、いくつかの「世間」に

所属できれば素敵です。

塾の仲間が、「世間」です。

絵画教室やダンス教室に通っている、というのも、もちろん、「世間」です。

そういう「世間」に所属することで、強い「世間」の生き苦しさやゴタゴタをスルーできるのです。

(中略)

もし、「世間」が見つからない時は、探します。

なにか習い事を始めてみるのもいいし、塾に通うのもいいでしょう。ネットで募集しているサークルを調べる、なんて手もあるでしょう。

探しながら、その間の淋しさは「社会話」でまぎらわすのです。

工 図書館に行つて 知らない人に「この本、面白かったです」と一言 言うだけでも少しは気が楽になるはずですよ。

駅でベビーカーを抱えて苦しんでいる女性に「手伝いましょうか?」と言うだけでも、なんだか素敵な気持ちになると思います。

そうやって、「社会」の人と話しながら、所属できる複数の弱い「世間」を探すのです。

(鴻上尚史『「空気」を読んでも従わない』より)

※ 問題作成の都合上、原文の表記を一部改めたり、文章の一部を省略したりしたところがあります。

問一

I にあてはまる内容として**適当でない**ものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 道ですれ違った人 イ 初めていくコンビニのバイトの人 ウ 習い事で同じクラスの人 エ 電車で隣に座っている人

問二

①「どうして助けられないのか、日本人のあなたなら、その理由は分かるでしょう」とありますが、筆者は「その理由」をどのように考えているのですか。五十字以上六十字以内で答えなさい。

問三

A S D に入る語の組み合わせとして最も**適当なもの**を次から選び、記号で答えなさい。

- ア A―「世間」 B―「社会」 C―「社会」 D―「世間」
 イ A―「世間」 B―「世間」 C―「社会」 D―「社会」
 ウ A―「世間」 B―「社会」 C―「世間」 D―「社会」
 エ A―「世間」 B―「世間」 C―「世間」 D―「社会」

問四

②「欧米おうえいの人は、『社会』に生きている」とありますが、「欧米の人」は「社会」をどのように認識していると述べられていますか。最も**適当なもの**を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 欧米では一人一人の好みが違うことは当たり前なので、相手が何を考えているかということにあまり興味を持たない。
 イ 欧米ではみんなが同じことを言わないといけないという考え方は、幼い頃こころからむしろ間違つたものと捉えられている。
 ウ 欧米では知っている人と知らない人を分けない考え方が一般的で、日本人のように誰が仲間かを意識するようなことはない。
 エ 欧米ではいろいろな文化や思想を持つ人が入り混じっているため、それぞれの人が違うことを考えるのが当たり前だと感じている。

問五

③『日本の奇跡きせき』とありますが、どのようなことが「奇跡」を起こしたのですか。最も**適当なもの**を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 日本人が非常時においても仲間外れにされないよう行動したこと。
 イ 日本人が個人の都合より地域や他者のためになることを優先させたこと。
 ウ 日本人が道路が壊れたことを悲しみ、町の美観を保とうとしたこと。
 エ 日本人が困難な時にも一致団結し、高い技術力を発揮したこと。

問六 あ　　う　に入る語として適当なものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア もちろん　　イ 例えば　　ウ まして　　エ でも　　オ すなわち

問七 ④「でも、これからは『社会話』もできるようになるといいなと僕は思っています」とありますが、

(1) ア～エについて「社会話」として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア エレベーターの中で、必ず、目礼か会釈か会話が始まります

イ 「じゃあ、私だけ、ハンバーガーを食べてくるから、ここでまた会おう」なんて会話

ウ 山を歩いていて、たまに人とすれ違つと、みんな「こんにちはー」と言います

エ 図書館に行つて、知らない人に「この本、面白かつたです」と一言、言う

(2) 筆者は、なぜ「これからは『社会話』もできるようになるといい」と考えるのですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 「社会話」をすることで、互いに多様性を受け入れ合うような、自由な生き方ができるようになるから。

イ 「社会話」をすることで、親密な人たちとの結びつきがより強くなり、お互いを信頼し合えるから。

ウ 「社会話」をすることで、他者に自分を知ってもらおう機会が増え、より気の合う人を見つげられるから。

エ 「社会話」をすることで、それまで過ぎていた狭い世界から離れ、視野を広げることができるから。

問八 ⑤「あなたがたったひとつの『世間』にしか所属していなければ、その『世間』から追い出されそうになったり、その『世間』とぶつかったり

したら、あなたの行く場所はなくなりまして」とありますが、その例として適当でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ある中学生の女の子は、部活のみんなで行こうと約束していたテーマパークに自分だけ行けず、話題についていけなくなった。

イ ある会社員の男性は、上司と意見が合わず辞職したことで自由な時間が増えたが、日々の元気を失い何もできなくなりました。

ウ ある小学生の男の子は、転校した先の学校にうまくなじめず、前の学校の友達と連絡を取り合うことで寂しさを紛らわせた。

エ ある主婦は、子どもが同じ幼稚園に通っている主婦同士で昼ご飯を一緒に食べるのが苦手だが、仕方なく毎日参加している。

問九 この文章で述べられている内容として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 日本人は、みんなと同じことをしたり考えたりすることを大切にせず、時に同じでない人を排除しようとしてしまう。
- イ 外国人は、普段は知らない人にも親切に振る舞うが、緊急時には自分のことばかり優先してしまう傾向にある。
- ウ 欧米人は、些細な食い違いでは仲違いをしないという信頼関係が強固であるため、自分の意志をはっきり伝えあう。
- エ 日本人は、自分の所属する集団にこだわりがちだが、そこから離れて一人で生きていくことが辛さを取り除くのに最も有効だ。

問十 中学一年生になったばかりの生徒たちが、本文を読んだ後に会話をしています。次の（X）・（Y）に当てはまる言葉を自分で考えてそれぞれ答えなさい。

タクミ「私はこの文章を読んで自分も『世間』の中で生きていることを強く感じたなあ。」

ヒロキ「なんでそう思ったの？」

タクミ「私は田舎町の小さな分校に通っていたから、学校の友達みんな幼なじみなの。特に習い事もしていなかったから、今でも連絡を取り合うのは家族か幼なじみばかりなんだよね。」

ヒロキ「なるほどね。僕も『社会』の人と話すのは苦手だけど、中学では『複数の弱い世間』に所属したいなあ。」

タクミ「『複数の弱い世間』に所属するってどんなことを考えているの？」

ヒロキ「例えば（ X ）と考えているんだ。」

タクミ「それはたしかに面白そう。Cさんはどう？」

リョウコ「私は帰国子女だからかもしれないけど、『社会』の人と会話するのも得意よ。この間も（ Y ）っていうことがあったわ！」

タクミ「それはすごいね！私もこれからはそういうことに挑戦してみたいな。」

二、次の問いにそれぞれ答えなさい。

問一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本では、夏と冬に挨拶の意味で贈り物をする（①）があります。夏の贈り物は「お中元」、冬の②それは「お歳暮」と呼ばれます。昔は魚やお酒が送られたようですが、現在はお菓子や果物など、さまざまな品物が③送られるようになりました。

（1）（①）に入る語を次から選びなさい。

ア 習慣 イ 生活 ウ 挨拶 エ 品物

（2）——②が指すものを次から選びなさい。

ア 挨拶 イ 贈り物 ウ お菓子 エ お酒

（3）——③「送られる」のは何ですか、次から選びなさい。

ア 魚やお酒 イ お中元 ウ お歳暮 エ 贈り物

問二 次の（メール文）を読んで、後の問いに答えなさい。

佐藤君へ

A社の部長への手紙の下書き、①見せてもらいました。伝えたい内容はすべて入っていると思いますが、いくつかの表現が相手にちょっと失礼になるかもしれないと思いました。気になったところに*をつけましたので、②書き直してみてください。③そのあと、また見ます。

吉田

(1) ①「見せてもらいました」とありますが、「見せてもらった」のは誰ですか、答えなさい。

ア 佐藤君　イ 吉田さん　ウ A社の部長　エ 佐藤君と吉田さん

(2) ②「書き直してみてください」とありますが、「書き直す」のは誰ですか、答えなさい。

ア 佐藤君　イ 吉田さん　ウ A社の部長　エ 佐藤君と吉田さん

(3) ③「その」の意味を指すものを次から選びなさい。

ア 手紙を見せてもらった　イ 伝えたい内容が入った　ウ *をつけた　エ 書き直した

問三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

あなたはテレビのコマーシャルを見ていて、まじめそうなタレントが宣伝している品物はなんとなく信じられるような気がする、ということはありませんか。また、入学するのが難しいと言われている大学の学生は、学力以外の能力も高いだろうと思うことはありませんか。

しかし、

入学するのが難しい大学の学生だからといって、①その

人物が社会的に優れているというわけではありません。

しかし、私たちは何かを評価するとき、いい特徴が一つあると、その他の点も高く評価してしまうことがよくあります。このように、目立つ特徴に

影響されて、その他の面についても高く評価したり、逆に低く評価したりする心理的効果のことを「②ハロー効果」と呼びます。「ハロー」というのは、

仏像の後ろにある光のことです。

面接試験の時に私たちが髪かみの形や服に気を遣つかうのは、面接をする人たちの心の中でもこのようなことが起きているからではないでしょう

か。面接をする側は、自分が行おうとしている判断が何かの影響を受けていないか、冷静に見ながら評価した方がいいでしょう。

(1) に入る文はどれですか、次から選びなさい。

ア まじめそうなタレントがコマーシャルで商品を宣伝しているのは、商品を良く見せたいからではありません

イ まじめそうなタレントがコマーシャルで商品を宣伝しているからといって、その商品の質が良いというわけではありません

ウ まじめそうなタレントがコマーシャルで商品を宣伝しているからといって、その商品を買いたくなるというわけではありません

エ まじめそうなタレントがコマーシャルで商品を宣伝しているのは、商品を買わせたいからではありません

(2) ① 「その人物」とは誰ですか、答えなさい。

(3) ② 「ハロー効果」とはどのような効果ですか、次から選びなさい。

ア 仏像の後ろで、明るくきれいな光が輝いていること

イ 髪の色や服など、見た目の印象が人物の評価に大きく影響すること

ウ 人や物を評価するとき、一つの大きな特徴が全体の評価に影響すること

エ 人や物を評価するとき、一番最初の印象で評価のほとんどが決まること

(4) 「ハロー効果」の例として適当でないものを次から選びなさい。

ア 良い評価のロコミが多い製品が実際の性能よりも過大評価される。

イ 悪い噂が流れている人と接すると、その人の悪い点ばかりに注目が集まってしまう。

ウ 名前の知らない会社であっても、その本社が都心の一等地にあるという信用してしまう。

エ 美しい女性が道に迷って困っていると、居合わせた人々は積極的に彼女を助けようとする。

問四 例題のように、Aの文の意味を変えずにふさわしい形を考え、Bの()に言葉を入れなさい。

例題) A 子どもたちが虫の観察をしている。

B (虫の観察をしている子どもたち)を写真にとる。

① A 私は川で魚を釣った。

B ()を夕飯のおかずにした。

② A 学校の飼育小屋ではうさぎを二羽、飼っている。

B ()にえさをやった。

③ A 震災が起こした津波は市内に大変な被害をもたらした。

B ()をたてなおそうとみなが努力している。

問五 次に挙げる世界のことわざと近い意味を表すと考えられる日本のことわざを、以下のア～キから選び、記号で答えなさい。

- ① 牧師の不信心
- ② 料理人が多すぎるとスープがまずくなる
- ③ 近道をゆくものは苦勞の道に入る
- ④ 水泳上手が水で死ぬ
- ⑤ 小鳥の歌よりもパンの方がいい

ア	花より団子
イ	絵にかいたもち
ウ	急いで仕事は仕損じる
エ	船頭多くして舟山 <small>ふね</small> に登る
オ	医者 <small>いしや</small> の不養生 <small>ふしょうじやう</small>
カ	枯れ木 <small>かき</small> も山 <small>やま</small> のにぎわい
キ	弘法 <small>こうぼう</small> も筆 <small>ふで</small> のあやまり

問六 次の①～④の文に用いられている慣用句について、() の意味になるような□に入る漢字一字を答えなさい。

- ① 今までの争いは全て□に流し、これからまた共に頑張がんばろう。(なかつたことにする。)
- ② 仕事もしないで□を売ってはいけません。(なまける)
- ③ 昨日の先生は□の居所きょしょが悪わるかったみたいだね。(きげんきげんが悪い)
- ④ 思いやりのある優しい息子をもつて□が高いよ。(得意とくいではこらしい)

- 三、次の①～⑧の——部のカタカナを漢字になおし、⑨～⑫の——部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。
- ① どちらにもカタナせず、公平に判断する。
 - ② 健康のため、ザツコク米を食べている。
 - ③ 家から学校までオウフクすると、いい運動になる。
 - ④ 毎日、シツソな生活を送っている。
 - ⑤ 親コウコウは親が元気なうちにしよう。
 - ⑥ 飛行機をソウジュウするのが、私の夢です。
 - ⑦ 単純メイカイな話をややこしく話すな。
 - ⑧ 長時間正座をシいられ、足がしびれた。
 - ⑨ 神社の境内で鬼おにごっこをしよう。
 - ⑩ 彼の抱える問題は枚挙にいとまがない。
 - ⑪ 潮時を見て、会議を退出した。
 - ⑫ この夏新政権が産声をあげた。